1．平成 30 年の水害被害額の概要

【被害の特徴等】

◆水害被害額は、全国で約 1 兆 4,050 億円

◆都道府県別の水害被害額上位 3 県は、以下のとおり。
(3 県はそれぞれ昭和 36 年の統計開始以来最大の被害額)

1 位：岡山県　（水害被害額：約 4,209 億円）
2 位：広島県　（水害被害額：約 3,388 億円）
3 位：愛媛県　（水害被害額：約 1,697 億円）

◆主要な水害による水害被害額及び概要

〇平成 30 年 7 月豪雨（水害被害額：約 1 兆 2,150 億円）
(平成 30 年 6 月 26 日～7 月 9 日に生じた梅雨前線豪雨及び台風第 7 号等による被害額)

・全国の多くの観測地点で降水量の値が観測史上第1位となるなど、広い範囲における長時間の記録的な大雨となり、西日本を中心に、広域的かつ同時多発的に河川の氾濫、内水氾濫、土石流等が発生。

・これらにより、家屋の全半壊約1万7千棟、浸水被害が約3万9千棟という、きわめて甚大な被害が発生した。

岡山県倉敷市真備町の浸水及び排水状況

〇平成 30 年台風第 24 号（水害被害額：約 580 億円）
(平成 30 年 9 月 27 日～10 月 1 日に生じた豪雨及び台風第 24 号による被害額)

・台風第24号の接近に伴い、紀伊半島などで過去の最高潮位を超える高潮を観測したところがあった。

・これら高潮、大雨の影響で、約2千棟の家屋浸水等の被害が発生した。

国道10号線の冠水状況(宮崎県宮崎市富吉付近)

〇平成 30 年台風第 21 号（水害被害額：約 410 億円）
(平成 30 年 9 月 3 日～9 日に生じた台風第 21 号及び豪雨による被害額)

・台風に伴い、特に近畿・四国地方では、猛烈な風雨のほか、観測記録を更新する記録的な高潮となったところがあった

・これらの豪雨や高潮の影響で、約700棟の家屋浸水等の被害が発生した。

尻無川水門の高潮状況（大阪府大阪市大正区）